



拝啓、会員様～森協会長のひとこと～

20年前、皆さんは何をされておりましたか？
 その頃の私は東京で駆け出しのサラリーマン生活を送っていましたが、先日ある方とお会いし話をすることで当時の自分と向き合う有意義な時間を持つ事が出来ました。
 「一期一会」やはり人との出会い、ご縁は大切にしたいものですね！
 迎えた平成24年度、まだまだ厳しい状況が続くとは思いますが、何事にも初心を忘れる事なく常に前向きに・・・。
 時代は変化していきますが、絶対に忘れてはいけないものもあるのだと思います。

ちょっと聞いてや!!

我々青年中央会の活動は単年度事業である。単年度ゆえの利点があり、反面、欠点がある。最大の欠点、それはPDCAサイクルの、CheckとActがほとんど全て抜け落ちてしまうことにあるとおもう。周年事業を通じて団体としての存在理由や立ち位置を確認することはできても、個々の活動を検証し、次なる有志の行動や連続する委員会活動に繋げて行くことは極めて稀である。行政の審議会や委員会、各種団体の会合に出席させていただく機会が増えたが、青年中央会の持続しない主張や行動への嘆息をよく耳にする。明日の地域経済、もっと言えば明日の地域そのものに責任を果たしていく青年経済団体として、その活動にいかんして連続性・一貫性を持たせていくのがこれからの使命であり、アクションリーダーとしての真の姿であるようにおもう。(副会長:後藤 公平)

3月度委員会報告

人間力開発委員会
 平成24年3月9日(金)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/15名
 議題/・役員報告
 ・松江YEGとの交流事業について
 ・会員拡大について
 ・5月担当例会について
 ・その他

政治経営委員会
 平成24年3月7日(水)於:米子市公会堂会議室 出席者/19名
 議題/・役員報告
 ・2月例会の振り返り
 ・その他

地域ビジョン委員会
 平成24年3月8日(木)於:レストランぶどうの木 出席者/18名
 議題/・役員報告
 ・3月例会打ち合わせ
 ・会員拡大について
 ・その他

広報委員会
 平成24年3月7日(水)於:レストランぶどうの木 出席者/15名
 議題/・役員報告
 ・ハンサム発行について
 ・DM実践について
 ・OB交流会について
 ・その他

総務委員会
 平成24年3月6日(火)於:米子市滝江文化センター(さなめホール) 出席者/17名
 議題/・役員報告
 ・中央会業務についての意見交換
 ・安来YEG交流事業について
 ・会員拡大について
 ・その他

新入会員

赤井 宏之 AB型
 取締役
 あかい工業(株)
 住宅基礎工事・外構工事・解体工事・土木工事・造成工事・除雪工事
 〒683-0853 米子市両三柳721-6
 TEL 29-4781 FAX 29-4781
 (KT) 090-3889-6472
 (EM) akaikougyou@sea.chukai.ne.jp
 S 50.06生

【コメント】
 この度3月に入会いたしました、あかい工業(株)で代表しています赤井宏之と申します。
 配属は総務委員会です。精一杯がんばります。よろしくお願ひ致します。

権田 和志 O型
 第二営業部 部長
 林味屋コーポレーション
 住出し・料理、居酒屋、和食店、焼肉店、もつ鍋店、ラーメン店、FC本部
 〒689-3553 西伯郡日吉村津日吉津1370-2
 TEL 27-4788 FAX 27-4789
 (KT) 090-3748-3127
 (EM) gonda001@mopera.net
 S 50.02生

【コメント】
 この度入会させて頂きました、林味屋コーポレーション権田和志です。中央会の発展に寄与し、未来の子供たちの幸せのために、地元経済の活性化に努めていくことを誓います。
 考えて即行動できる会員を目指して頑張りますので、皆様、私の至らない所を見かけたら、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

編集後記

初期型から新しいiPadに買い替えてみた。形は大して変わりなさそうだが中身はかなり進歩しているらしい。便利な機能が盛りだくさんあるが、結局使う機能は限られている。頭が進歩していないから初期型でもよかったような・・・
 (記事:宮崎)

4月役員会報告
 4月役員会が平成24年4月2日(月)米子食品会館にて開催されました。
 当日の主な議題は以下の通りです。
 ・3月例会開催報告 ・4月家族例会開催の件
 ・5月例会開催の件 ・安来YEG交流事業の件
 ・OB交流会の件
 *なお、詳細につきましては、各委員長までご参照下さい。

4月家族例会案内
 と き:平成24年4月14日(土) 9:30~14:00
 と ころ:米子市児童文化センター及び米子城跡
 テーマ:「家族・仲間との絆、再発見!!」
 担 当:37期 役員

Handsome

Handsome CONTENTS

April 2012



巻頭記事

鳥取県西部中小企業青年中央会 第38期会長決定!

鳥取県中小企業青年中央会 次年度県会長候補決定!!

3月例会開催

3月例会を終えて
地域ビジョン委員会 委員長 長谷川 洋司

連載 拝啓、会員様
～森協会長のひとこと～

OB訪問

(株)ベトナムジャパン
桶村 清子OB(第36期ご卒業)

鳥取県東部中小企業青年中央会 3月オープン例会に参加して

連載
委員会訪問 地域ビジョン委員会
中央会を振り返って 小川 敦弘
ちょっと聞いてや!! 副会長 後藤 公平

4月家族例会へ向けて

4月家族例会担当リーダー 専務理事 岩田 剛

発行人/鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 森脇 哲雄 編集責任者/担当 副会長 小川 敦弘 制作・編集 37期広報委員会/委員長 松尾 友雄 印刷所/東京印刷(株)

相互理解と協調

2012.4 No.283

鳥取県西部中小企業青年中央会第38期会長決定!



河津慎二次年度会長のプロフィール

氏 名:河津 慎二

生 年 月:S 45.04(42歳)

所属企業・役職:東京印刷(株) 企画開発課長

入会年度:平成15年度入会(第29期)

中央会経歴:

- H16年度 メディアコミュニケーション委員会 副委員長
- H17年度 メディアコミュニケーション委員会 委員長
- H19年度 県出向理事
- H21年度 副会長
- H22年度 県出向監事
- H23年度 監事

趣 味:スノーボード、バスフィッシング、次年度会長承認後、強制的に始めたゴルフ(でも、現在はハマっております。)

座右の銘:誠意

この度、鳥取県西部中小企業青年中央会 第38期会長に指名承認頂きました河津慎二です。承認頂き、ありがとうございます。どうぞ宜しくお願いします。

第37期森協会長から第38期会長のお声をかけて頂き、非常に光栄に思いましたが、ご返事をするまで私なりに色々な葛藤があり、ぎりぎりまで待つ頂きご心配をおかけしました。しかし、第38期でちょうど10期目の節目にあたり、少しでもお役に立ちたいという思いと、この経験は必ずこれからの糧になると思ひ会長職をお受けすることにしました。3月の臨時総会決議後、

何か気持ちがかたくなり、身が引き締まる思いと、受けたからは私なりに一生懸命するという気持ちで一杯であります。今まで先輩方が築かれた伝統と思いを引き継ぐことと、未来に向かった活動をして参ります。皆様のご協力なくしては当然出来ないことですので、至らぬ点はあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

また、今期の森協会長年度も大詰めに差し掛かっております。引き続き、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

鳥取県中小企業青年中央会次年度県会長候補決定!

氏 名:北口 智明

- 略 歴: H15年度 30周年記念事業委員会 副委員長
- H16年度 政治行政委員会 委員長
- H18年度 県出向理事
- H19年度 副会長
- H21年度 監 事
- H22年度 会 長
- H23年度 直前会長

3月例会の臨時総会にて会員の皆様より次年度県会長候補に承認頂き、ありがとうございます。中央会生活最後の年に大役を頂き一層身の引き締まる思いです。新しい事にもチャレンジし青年中央会の為に尽くしていきたいと思っておりますので皆様どうぞ宜しくお願い致します。



3月例会開催！！

平成24年3月14日 米子コンベンションセンター小ホール

地域ビジョン委員会担当の3月例会が開催された、OB会員、一般の方々、現役会員含め多くの方々にご参加いただいた。



冒頭に森協会長より「先日にお会いした恩師の話をしたが、今回、時間が足りないので5月例会でお話しします。今回、新入会員3名を迎える事と、オープン例会形式となるので、しっかり締めた例会になるように」との挨拶があり、その後、権田会員、赤井会員、吉田会員にバッジが授与された。

その後、小川副会長が議長に選出され、次年度(第38期)会長を決める臨時総会が開催された。河津監事が指名推薦され「異議なし！」と満場一致で承認された。2号議案とし、県中小企業青年中央会の会長候補に、北口直前会長が指名推薦され、これも満場一致で承認された。



委員長タイムでは、谷口委員長が中央会活動を振り返りながら語られた。「はい、喜んで！」と返事をして、不安であっても取り組んできた結果、「自分を本当に知ることが出来た。」と話された。



今例会は「障がい者の企業就労と自立支援」というタイトルのもと、始めに森協会長から、「地域ビジョン委員会は、これまで観光を主として取り組んでいたが、今年は福祉の事について一生懸命取り組んでいる。地域貢献も含め活動の理解と御支援をお願いします。」と挨拶をされた。長谷川委員長が趣旨説明をされた後、自立支援センター・メインストリーム協会 副代表の玉木幸則氏を招いての講演会が始まった。



聞き手が思っているような事を率直に話され、会場全体に笑いの出る場面もあった。内容は、いろいろな支援制度等はある

が、それは、「誰のための…何のための…」ものなのか？もっと意見を聞いてほしい。自分が幸せかどうかは自分にしかわからない。「本当の障がいは、地域社会をつくった人達のところに潜んでいる。」と訴えられた。



第2部のパネルディスカッションが、パネリストに、玉木先生、NPO法人地域活動支援センターおおぞら 植村ゆかり氏、鳥取県福祉保健部障がい福祉課室長 小谷昭男氏の3名、コーディネーターに、内田会員、田中会員の2名の構成で始まった。

内容の一部であるが、養護学校では、障がい者が社会に出てから役に立つことは少ないパソコンの授業が殆どである。本人に勘違いをさせてしまっている問題等が指摘された。

最後に長田副会長が、「障がい者の方も一人の人として考え、ふれあいを持つことにより、健全者、障がい者の溝が埋まっていくのでは？」という言葉を入れ謝辞を述べられた。

それぞれの立場の人を考えていかなければならない事を理解し、多数参加の中、閉会した。(記事:角田)

3月例会を終えて…

地域ビジョン委員会 委員長 長谷川 洋司

3月オープン例会いかがでしたでしょうか？進行などの反省点はいくつかありますが、OB会員、他団体、一般を含め80名の多数の方々にご参加いただき、無事に開催することができました。

また、ご参加いただいた方々から「良かった」というお声をいただくことができ、今回の講演会を通じて多くの皆様に障

がいのある方たちに対する意識や考え方が少しでも変えることができたのではないのでしょうか？私たちが障がいのある方たちに対して意識することで、普段戸外に出る機会が少ない方たちが街を歩き、買い物などをする環境ができれば街全体にも活気が溢れ、地域活性の一助になるのではないのでしょうか。

4月家族例会に向けて



昨年の東日本大震災から1年以上が経過いたしました。被災地では現在も多くの困難に立ち向かっておられる被災者の皆様が多くおられます。この場をお借りして、心よりお見舞い申し上げます。

今回の4月例会は「普段そこにある当たり前前の幸せ」が如何に大切な

ものであるか、「家族・仲間との絆、再発見！！」をテーマに企画いたしました。米子城址登山、災害時の応急処置方法の習得、災害時の炊き出しなどを通して、ご家族、仲間との大切な時間を共有し、ご家族の皆さんに西部青年中央会をご理解いただきたいと思っております。担当は第37期役員です。どうぞ宜しくお願いします。晴れるといいね！！

(4月家族例会 担当リーダー 専務理事 岩田 剛)

鳥取県東部中小企業青年中央会3月オープン例会に参加して

3月16日(金)とりぎん文化会館にて、鳥取県東部中小企業青年中央会3月オープン例会が開催された。講演は東京ディズニーランドを運営する「株式会社オリエンタルランド」で研修制度を100プログラム以上開発され、その後「JSパートナー株式会社」の代表取締役就任された福島文二郎氏をお招きし、ディズニーランドを運営するうえで大切なこと、またそれはどの接客業にも共通するという、とても参考になるお話だった。

印象深かったのが、「テーマパークのCSの考え方」小さな感動をたく

さん創る、「ミッション(理念)の重要性」すべてのゲストにハピネスを提供する、「ホスピタリティについて」相手への思いやり、という3つの内容。

また質問タイムでは一般の大学生や、企業にお勤めの方がされた職場の人間関係についての質問に親身になって答えられた。またまた参考になるお話だ。今回2時間という短い時間だったが、学んだことを企業に持ち帰り、伝えていきたいと真剣に思える良い講演だと感じた。(記事:織戸)

OB訪問

(株)ベトナムジャパン 桶村清子OB (第36期卒会)



今月は第36期卒会桶村清子OBに、卒会後に新規設立された輸入雑貨販売『(株)ベトナムジャパン』の概要とご本人の目で見た昨今のベトナム事情についてお話を伺いました。

桶村OBが新設の法人設立に至った切っ掛けは、お気に入りのベトナムを中心とした輸入雑貨店が閉店した頃から始まるそうです。「現地で自分の物を買うついでに人の物も買ってこよう」と思い立ち、片言の英語と現地語+指差し単語帳+電卓だけで単身渡航され、現地の友達のお宅へお邪魔して夕食をご馳走になる位の交流が可能

ですが、最近ではipadと翻訳アプリのお陰で益々活動範囲が広がったそうです。年に3回はホーチミンに長期滞在して、屋台で好物の「ブン・チャー(つけ麺)」を食し、ナイトパザールの露店設営を眺め、地ビールで友達と乾杯しつつ、洋服や装飾品、雑貨の仕入れを行っておられます。

男義溢れる氏のご活躍はFacebookで「友達」になるとより理解出来るでしょう。「海外へ行く」と日本企業の顧客に対する心遣いがよく解る。ペットボトルの蓋一つとっても、手が痛くなる事は無い筈。欲しい物が必ず手に入るこの時代に、改めてその有難味に気付くべき。そこに日本の良さがあるのだと思う。

最終的な目標は日本とベトナムの両国に店舗を置き、双方のスタッフがお互いに技術や文化を学び合い、成長できる場を作る事だそうです。

今後のご活躍を応援しております。(記事:長谷川)

中央会をふりかえって…

小川 敦弘 会員 (H18.02入会)



春を迎えて卒会の時期が間近に迫り、寂しさを感じている今日この頃です。

中央会に新入会員として入会をご承認いただいたから、あつという間の7年でした。

とはいえ改めて振り返ってみますと、じつに充実した年月でした。

さまざまな分野の皆様との交流を通して、地域の問題や経済、

政治など、大変多くのことを学ばせていただき、私なりに問題意識を持つことができました。

さらに、人との適切な接し方や自らの言動に対する責任、物事に対する考え方の柔軟性なども身に付けられ、中央会によって得られたものは計り知れません。

信頼できる仲間から、貴重な意見を頂戴できるありがたさも身に染みており、会員の皆様をはじめ、緒先輩方には大変お世話になりました。7年の間に、皆様とは互いに理解を深められ、培った人脈は何ものにも代えがたい貴重な財産です。

私はこのたび会を離れますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

これからも中央会での経験を糧に、何事に関しても広い視野をもち、与えられたチャンスを逃さぬよう、果敢に取り組んでまいりたいと考えております。

委員会訪問

～地域ビジョン委員会～

平成24年3月8日に米子市のレストランぶどうの木で開催された地域ビジョン委員会の模様について報告いたします。

会場に入りまず目についたのが、殆どの会員さんが着用されている「あいサポートバッジ」でした。委員会で取り組まれている「障がいのある方のかかわり方」について、皆さんが積極的に実践されていることを実感させられました。

委員会は、長谷川委員長による役員会報告に始まり、3月の担当例会に向けての打合せが行われました。

特に今回の例会は、「障がい者の就労と自立支援」をテーマとしたオープン例会ということもあり、細かな部分に至るまで入念な確認が行われ、例会の成功を期して閉会となりました。



長谷川委員長から会員への呼びかけはニックネームで行われるなど、全体的には和やかな雰囲気でしたが、要所要所では、白熱した議論も交わされ、委員長と会員との一体感を強く感じる地域ビジョン委員会でした。(記事:徳尾)